



ディレクトリ サービス

- [ディレクトリ サービスについて \(1 ページ\)](#)
- [ディレクトリサービスの構成 \(3 ページ\)](#)
- [ディレクトリ サービスの設定例 \(14 ページ\)](#)
- [ディレクトリ サービスの機能情報 \(19 ページ\)](#)

ディレクトリ サービスについて

ローカル ディレクトリ

Cisco Unified CME は、電話機のディレクトリ番号設定で割り当てられた電話番号を含む、ローカル電話ディレクトリを自動的に作成します。テレフォニー サービス コンフィギュレーション モードでローカルディレクトリに追加エントリを作成できます。追加エントリは、会社で使用する他の Cisco Unified CME システムの電話番号など、ローカル以外の番号にすることができます。

電話機ユーザーが、**[ディレクトリ (Directories)]** > **[ローカルディレクトリ (Local Directory)]** メニューを選択した場合、電話機には、Unified Cisco Mobility Express の検索ページが表示されます。ユーザが検索情報を入力すると、電話機はその情報を Cisco Unified CME へ送信します。要求された番号または名前がディレクトリ番号設定で検索され、応答が電話機へ返されます。一致する結果が電話機に表示されます。電話機は最大 32 のディレクトリ エントリを表示できます。検索結果のエントリ数が 32 を超える場合は、電話機にエラーメッセージが表示されます。ユーザは結果を絞り込むために、検索条件を限定する必要があります。

ディレクトリエントリの名前の順序は、姓が先、名が先のいずれかになります。ディレクトリ名の文字列にスペースおよびカンマ (,) を含めることは可能ですが、アンパサンド (&) を含めることはできません。

IP Phone に表示されるローカルディレクトリは、HTTP 経由でアクセスされるパスワード保護なしの XML ページです。ディレクトリ HTTP サービスを無効にすると、ローカルディレクトリを使用不可にできます。

構成情報については、[ローカルディレクトリ サービスの構成 \(3 ページ\)](#) を参照してください。

Cisco Mobility Express 12.0 以降では、ローカルディレクトリ サービスを認証するために、オプションのユーザー名とパスワードを構成できます。

CLI コマンド **service local-directoryauthenticateusername password** の詳細については、「[Cisco Unified Communications Manager Express コマンド参照資料](#)」を参照してください。

外部ディレクトリ

Cisco Unified IP Phone は、[ディレクトリ (Directories)] ボタンを含む IP Phone の 4 つのプログラマブル機能ボタンと組み合わせて URL をサポートできます。これらのサービスの動作は、Cisco Unified IP Phone の機能および参照される URL のコンテンツによって決まります。ディレクトリ URL のプロビジョニングによって外部ディレクトリ リソースを選択すると、Cisco Unified CME のローカルディレクトリ サービスは無効になります。

着信側名ディスプレイ

電話機のエージェントが他の部署または外部の人間からの電話に応答すると、発信者側の番号を表示するより、発信者の名前を表示した方が便利ながよくあります。[ダイヤル番号識別サービス (Dialed Number Identification Service)] (または発信者名表示) 機能は、Unified Cisco Mobility Express で構成された IP Phone への着信通話の着信番号に関連付けられた名前を表示します。表示名は、ディレクトリルックアップを使用して、Unified Cisco Mobility Express ディレクトリ名のリストから取得されます。

このディレクトリルックアップサービスを使用するには、telephony-service 構成の CLI コマンド **service dnis dir-lookup** を構成する必要があります。CLI コマンド **service dnis dir-lookup** に関する詳細は、『[Cisco Unified Communications Manager Express コマンド参照ガイド](#)』を参照してください。

発信者側番号の表示名が Unified Cisco Mobility Express ディレクトリ名にない場合、CLI コマンド **directory entry** を使用して表示名を追加します。CLI コマンド **directory entry** に関する詳細は、『[Cisco Unified Communications Manager Express コマンド参照ガイド](#)』を参照してください。



- (注) 電話機が 2 つの通話を同時に受信した場合、電話機が応答する通話の間にはわずかな時間差があります。着信者名表示は、電話機が最初に認識した通話のみ表示されます。最初の通話が切断され、2 番目の通話呼び出し中状態の場合でも、2 番目の通話では着信者名表示機能は動作しません。

着信者名表示の例については、「[音声ハンドグループの着信側名表示の例 \(15 ページ\)](#)」を参照してください。

ephone-dn の着信者名表示機能では、次のいずれかのタイプの名前を表示できます。

- ローカルディレクトリのディレクトリ番号の名前

- オーバーレイディレクトリ番号に関連付けられた名前。オーバーレイ番号セットの最初のディレクトリ番号へのコールでは、発信者 ID が表示されます。オーバーレイセットの残りのディレクトリ番号へのコールでは、ディレクトリ番号に関連付けられた名前が表示されます。

これは、ephone-dn の着信者名表示の例です。注文受付担当者が、各 800 番 が構成された 1 つのオーバーレイ ephone-dn セットを使用して 3 つのカタログでサービスを提供する場合、「カタログにお電話いただきありがとうございますN」ご注文をいただいてもよろしいですか？」などの適切なあいさつをするためにどのカタログに着信があったかを知る必要があります。

Unified Cisco Mobility Express 12.0 以降から、[ダイヤル番号識別サービス (Dialed Number Identification Service)] 機能は、Cisco 4000 シリーズ サービス統合型ルータの音声ハンドグループで構成された電話機でサポートされています。[ダイヤル番号識別サービス (Dialed Number Identification Service)] 機能は、ピア、シーケンシャル、パラレルおよび最長アイドル音声ハンドグループでサポートされています。Unified Cisco Mobility Express 12.0 リリースの一環として、Cisco IP Phones 7800 および 8800 Series の SIP Phone でサポートが導入されています。[着信者名表示 (Called-Name Display)] 機能の構成の詳細については、「[着信側名ディスプレイ \(8 ページ\)](#)」を参照してください。

ディレクトリ検索

Cisco Unified CME 4.3 では、ディレクトリ検索機能の使用時に検索結果リストでサポートされるエントリの数が、32 から最大 240 に増えています。たとえば、ユーザーが、名字として、**smith** と入力した際、240 すべて的一致が、8 ページ (各ページに 30 エントリ) で表示されます。複数のページが必要な場合、電話機は、Next と Prev の新しい 2 つのソフトキーが表示されます。これを使用すると電話機ユーザーは、前のページや次のページに移動できます。「2/3 ページ」などのテキストは、検索結果の現在のページとすべてのページ数を示しています。

ディレクトリサービスの構成

ローカル ディレクトリ サービスの構成

ローカルディレクトリ名の形式を決定したり、すべての電話機でローカルディレクトリ表示をブロックするには、次の手順を実行します。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **telephony-service**
4. **directory { first-name-first | last-name-first }**
5. **no service local-directory**
6. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	configure terminal 例： Router# configure terminal	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 3	telephony-service 例： Router(config)# telephony-service	telephony-service コンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 4	directory {first-name-first last-name-first} 例： Router(config-telephony)# directory last-name-first	ローカルディレクトリのエントリの形式を定義します。 • デフォルトは first-name-first です。
ステップ 5	no service local-directory 例： Router(config-telephony)# no service local-directory	IP Phone のローカルディレクトリ サービスを無効にします。
ステップ 6	end 例： Router(config-telephony)# end	特権 EXEC モードに戻ります。

SCCP 電話機でディレクトリ番号の名前を定義

ローカルディレクトリ エントリとして発信者 ID 表示に使用する名前を定義するには、次の手順を実行します。



制約事項

- ディレクトリ番号に関連付ける名前にアンパサンド (&) などの特殊文字を含めることはできません。名前に使用できる特殊文字はカンマ (,) およびパーセント記号 (%) だけです。

始める前に

- Cisco CME 3.0 以降のバージョン。

- ディレクトリエントリを定義するディレクトリ番号には、**number (ephone-dn)** コマンドを使用して番号をあらかじめ割り当てておく必要があります。構成情報については、[SCCP 電話機の電話番号の作成](#)を参照してください。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **ephone-dn dn-tag**
4. **name name**
5. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	configure terminal 例： Router# configure terminal	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 3	ephone-dn dn-tag 例： Router(config)# ephone-dn 55	ephone-dn コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 4	name name 例： Router(config-ephone-dn)# name Smith, John または Router(config-ephone-dn)# name Shipping and Handling	このディレクトリ番号に名前を関連付けます。 • directory コマンドで指定された名前順序 (first-name-first または last-name-first) に従う必要があります。 • name 表示する英数字文字列。 • name 文字列は、2つの部分 (名または姓) を1つのスペースで区切る必要があります。 • name 文字列の2つ目の部分には、「 and Shipping 」などのスペースを含むことができます。 name 文字列の1つ目の部分には、スペースを含むことはできません。 • 表示目的で、例えば、姓が先に来るパターン (姓、名) を使用する際は、 name 文字列にカンマ (,) を含めることができます。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 5	end 例： Router (config-telephony) # end	特権 EXEC モードに戻ります。

SCCP 電話機のローカルディレクトリにエントリを追加

ローカルディレクトリにエントリを追加するには、次の手順を実行します。



制約事項

- 設定するディレクトリ エントリが **Called-Name** 表示に使用される場合には、設定される番号に少なくとも 1 つのワイルドカード文字を含める必要があります。
- ローカルディレクトリのエントリには、シングルクォーテーション (‘、’) とダブルクォーテーション (“、”) を含めることはできません。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **telephony-service**
4. **directory entry** {*directory-tag number name name* | **clear**}
5. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	configure terminal 例： Router# configure terminal	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 3	telephony-service 例： Router (config) # telephony-service	telephony-service コンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 4	directory entry { <i>directory-tag number name name</i> clear } 例：	IP Phone に表示される電話ディレクトリ エントリを作成します。エントリは入力された順序で表示されます。

	コマンドまたはアクション	目的
	Router(config-telephony)# directory entry 1 5550111 name Sales	<ul style="list-style-type: none"> • directory-tag : すべての設定作業中に、このディレクトリ エントリを識別する固有のシーケンス番号。範囲は 1 ~ 250 です。 • この名前を発信元名ディスプレイに使用する場合、名前に関連付けられている番号には、少なくとも 1 つのワイルドカード文字を含める必要があります。 • name— スペースを含む 1 ~ 24 の英数字。名前には、シングルクォーテーション (,,、または) を含むことはできません。
ステップ 5	end 例 : Router(config-telephony)# end	特権 EXEC モードに戻ります。

SCCP 電話機で外部ディレクトリサービスを構成

サポートされる Cisco Unified IP Phone で外部ディレクトリ リソースを有効にし、ローカルディレクトリ サービスをその電話機で無効にするには、次の手順に従います。



制約事項

- ディレクトリ URL のプロビジョニングによって外部ディレクトリ リソースを選択すると、Cisco Unified CME のローカルディレクトリ サービスは無効になります。
- 外部ディレクトリ サービスの設定は、Java ベースの電話機だけで機能します。Java ベースの電話機では、次の重複ディレクトリが表示されます。
 - 不在履歴
 - 着信
 - 発信

始める前に

Cisco Unified Communications Manager ディレクトリを Cisco Unified CME Phone の外部ディレクトリ リソースとして使用するには、Cisco Unified Communications Manager がその電話機を認識する必要があります。Cisco Unified Communications Manager で Cisco Unified CME Phone の MAC アドレスをリストして、Cisco Unified Communications Manager から電話機をリセットする必要があります。電話機に ephone-dn を割り当てる必要も、電話機を Cisco Unified Communications Manager に登録する必要もありません。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **telephony-service**
4. **url directories url**
5. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	configure terminal 例： Router# configure terminal	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 3	telephony-service 例： Router(config)# telephony-service	telephony-service コンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 4	url directories url 例： Router(config-telephony)# url directories http://10.0.0.11/localdirectory	Cisco Unified Cisco Mobility Express の対応 Cisco Unified IP phone のプログラム可能な [ディレクトリ (Directories)] 機能に URL に関連付けます。 • 外部ディレクトリリソースを選択するディレクトリ URL をプロビジョニングすると、Cisco Unified Cisco Mobility Express ローカルディレクトリ サービスが無効となります。 • これらのサービスの操作は、Cisco Unified IP Phone 機能と指定 URL のコンテンツによって決定されます。
ステップ 5	end 例： Router(config-telephony)# end	コンフィギュレーションモードを終了して、特権 EXEC モードを開始します。

着信側名ディスプレイ

Called-Name 表示を有効にするには、次の手順を実行します。



制約事項

- **service dnis overlay** コマンドは、オーバーレイ ephone-dn を構成するためだけに使用します。

始める前に

- オーバーレイされたディレクトリ番号以外のディレクトリ番号の場合：Called-Name 表示に名前を表示するには、表示する名前がローカルディレクトリに定義されていること。「[SCCP 電話機のローカルディレクトリにエントリを追加 \(6 ページ\)](#)」を参照してください。
- オーバーレイされたディレクトリ番号の場合：オーバーレイされたディレクトリ番号セットにあるディレクトリ番号に対して、名前を Called-Name 表示に表示するには、表示する名前が定義されていること。「[SCCP 電話機でディレクトリ番号の名前を定義 \(4 ページ\)](#)」を参照してください。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **telephony-service**
4. **service dnis dir-lookup**
5. **service dnis overlay**
6. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	configure terminal 例： Router# configure terminal	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 3	telephony-service 例： Router(config)#	telephony-service コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 4	service dnis dir-lookup 例： Router(config-telephony)# service dnis dir-lookup	発信元番号へ着信通話で、 directory entry コマンドを使用してこのディレクトリ番号に定義した名前を表示するかを指定します。

	コマンドまたはアクション	目的
		<ul style="list-style-type: none"> • service dnis dir-lookup および service dnis overlay コマンドの両方が 1 つの構成に使用されている場合、service dnis dir-lookup コマンドが優先されます。
ステップ 5	service dnis overlay 例： <pre>Router(config-telephony)# service dnis overlay</pre>	(オーバーレイされたディレクトリ番号のみ。) 発信元番号へ着信通話で、 name コマンドを使用してこのディレクトリ番号に定義した名前を表示するかを指定します。 (注) service dnis dir-lookup および service dnis overlay コマンドの両方が 1 つの構成に使用されている場合、 service dnis dir-lookup コマンドが優先されます。
ステップ 6	end 例： <pre>Router(config-telephony)# end</pre>	特権 EXEC モードに戻ります。

呼び出し名ディスプレイの確認

ステップ 1 **show running-config** コマンドを使用して構成を確認します。Called-Name 表示は出力の telephony-service 部分に示されます。

例：

```
Router# show running-config
telephony-service
  service dnis overlay
```

ステップ 2 **show telephony-service directory-entry** コマンドを使用して、現在のディレクトリエントリを表示します。

例：

```
Router# show telephony-service directory-entry

directory entry 1 5550341 name doctor1
directory entry 2 5550772 name doctor1
directory entry 3 5550263 name doctor3
```

ステップ 3 **show telephony-service ephone-dn** コマンドを使用して、ephone-dn プライマリまたはセカンダリ番号を少なくとも 1 つのワイルドカードに使用したことおよび番号の名前を入力したことを確認します。

例：

```
Router# show telephony-service ephone-dn

ephone-dn 2
  number 5002 secondary 200.
```

```
name catalogN
huntstop
call-forward noan 5001 timeout 8
```

ステップ 4 show ephone overlay コマンドを使用してオーバーレイ ephone-dn 一式のコンテンツを確認します。

例 :

```
Router# show ephone overlay
```

```
ephone-1 Mac:0007.0EA6.353A TCP socket:[1] activeLine:0 REGISTERED
mediaActive:0 offhook:0 ringing:0 reset:0 reset_sent:0 paging 0 debug:0

IP:10.2.225.205 52486 Telecaster 7960 keepalive 2771 max_line 6
button 1: dn 11 number 60011 CH1 IDLE overlay
button 2: dn 17 number 60017 CH1 IDLE overlay
button 3: dn 24 number 60024 CH1 IDLE overlay
button 4: dn 30 number 60030 CH1 IDLE overlay
button 5: dn 36 number 60036 CH1 IDLE CH2 IDLE overlay
button 6: dn 39 number 60039 CH1 IDLE CH2 IDLE overlay
overlay 1: 11(60011) 12(60012) 13(60013) 14(60014) 15(60015) 16(60016)
overlay 2: 17(60017) 18(60018) 19(60019) 20(60020) 21(60021) 22(60022)
overlay 3: 23(60023) 24(60024) 25(60025) 26(60026) 27(60027) 28(60028)
overlay 4: 29(60029) 30(60030) 31(60031) 32(60032) 33(60033) 34(60034)
overlay 5: 35(60035) 36(60036) 37(60037)
overlay 6: 38(60038) 39(60039) 40(60040)
```

SIP 電話機でディレクトリ番号の名前を定義

SIP 電話機のディレクトリ番号の名前を定義するには、次の手順を実行します。

始める前に

- Cisco CME 3.4 以降のバージョン。
- 名前を定義するディレクトリ番号には、**number (voice register dn)** コマンドを使用して番号をあらかじめ割り当てておく必要があります。構成情報については、[SIP 電話機にディレクトリ番号を作成する](#)を参照してください。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **voice register dn *dn-tag***
4. **name *name***
5. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	configure terminal 例： Router# configure terminal	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 3	voice register dn dn-tag 例： Router(config-register-global)# voice register dn 17	音声登録 DN 構成モードを開始して、SIP 電話機のディレクトリ番号、インターコム回線、音声ポート、またはメッセージ待機インジケータ (MWI) を定義します。
ステップ 4	name name 例： Router(config-register-dn)# name Smith, John または Router(config-register-dn)# name John Smith	Cisco Unified Cisco Mobility Express のディレクトリ番号に名前を関連付け、SIP 電話機から発信される通話の発信者 ID を指定します。 • 名前は、 directory (telephony-service) コマンドで指定した順序に従う必要があります。
ステップ 5	end 例： Router(config-register-dn)# end	コンフィギュレーションモードを終了して、特権 EXEC モードを開始します。

SIP サービスで外部ディレクトリサービスを構成

サポートされる Cisco Unified IP Phone で外部ディレクトリリソースを有効にし、ローカルディレクトリ サービスをその電話機で無効にするには、次の手順に従います。



制約事項

- ディレクトリ URL のプロビジョニングによって外部ディレクトリリソースを選択すると、Cisco Unified CME のローカルディレクトリ サービスは無効になります。
- Cisco Unified IP Phone 7960 および 7960G と Cisco Unified IP Phone 7940 および 7940G でのみサポートされます。

始める前に

Cisco CME 3.4 以降のバージョン。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **voice register global**
4. **url directory url**
5. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	configure terminal 例： Router# configure terminal	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 3	voice register global 例： Router(config)# voice register global	音声登録グローバル構成モードを開始して、Cisco Unified CME でサポートされるすべての SIP 電話機に対してパラメータを設定します。
ステップ 4	url directory url 例： Router(config-register-global)# url directory http://10.0.0.11/localdirectory	Cisco Unified Cisco Mobility Express の対応 Cisco Unified IP phone のプログラム可能な [ディレクトリ (Directories)] 機能に URL に関連付けます。 • ディレクトリ URL のプロビジョニングによって外部ディレクトリリソースを選択すると、Cisco Unified Cisco Mobility Express のローカルディレクトリ サービスは無効になります。 • これらのサービスの操作は、Cisco Unified IP Phone 機能と指定 URL のコンテンツによって決定されます。
ステップ 5	end 例： Router(config-register-global)# end	特権 EXEC モードに戻ります。

ディレクトリサービスの確認

ローカルディレクトリ サービスの設定を確認するには、次の手順を実行します。

ステップ1 show running-config

このコマンドは、実行コンフィギュレーションを表示します。ディレクトリ コンフィギュレーションコマンドが出力の `telephony-service` 部分にリストされます。

例：

```
Router# show running-config
.
.
.
timeout busy 10
timeout ringing 100
caller-id name-only: enable
system message XYZ Company
web admin system name admin1 password admin1
web admin customer name Customer
edit DN through Web: enabled.
edit TIME through web: enabled.
Log (table parameters):
  max-size: 150
  retain-timer: 15
create cnf-files version-stamp Jan 01 2002 00:00:00
transfer-system full-consult
multicast moh 239.12.20.123 port 2000
fxo hook-flash
local directory service: enabled.
```

ステップ2 show telephony-service

このコマンドは、`telephony-service` コンフィギュレーション情報のみを表示します。

ステップ3 `show telephony-service directory-entry` コマンドを使用して、`directory entry` コマンドを使用して作成されたエントリを表示します。

ディレクトリ サービスの設定例

ローカルディレクトリの構成例

次の例では、Cisco Unified CME ルータによってサービスが提供される IP Phone のローカルディレクトリの命名順序が定義されます。

```
telephony-service
directory last-name-first
```

次の例では、3つの電話リストのディレクトリが作成されます。

```
telephony-service
directory entry 1 14045550111 name Sales
directory entry 2 13125550122 name Marketing
directory entry 3 12135550144 name Support Center
```

次の例では、Cisco Unified CME ルータによってサービスが提供される IP Phone のローカルディレクトリが無効になります。

```
telephony-service
no service local-directory
```

呼び出し名ディスプレイの構成例

ここでは、次の例について説明します。

音声ハントグループの着信側名表示の例

次に、音声ハントグループ構成の例を示します。ここでは、CLI コマンド **service dnis dir-lookup** を使用すると、CLI コマンド **directory entry** を使用して宣言した番号に通話が発信された際に、ディレクトリエントリ名を IP Phone に表示できます。この例では、パイロットアンバーは 11... です。つまり、ユーザーは、1100 ~ 1199 の番号にダイヤルできます。ユーザーが 1111 にダイヤルすると、ディレクトリ名 dept1 が、ディレクトリ番号 2001、2002 および 2003 に表示されます。ユーザーが 1155 をダイヤルすると、ディレクトリ名 dept2 が表示され、ユーザーが 5500 をダイヤルすると、ディレクトリ名 dept3 がディレクトリ番号 2001、2002、および 2003 に示されます。

```
telephony-service
 service dnis dir-lookup
 directory entry 1 1111 name dept1
 directory entry 2 1155 name dept2
 directory entry 3 5500 name dept3

voice hunt-group 1 sequential
pilot 11..
list 2001, 2002, 2003
final 8888
timeout 10
```

オーバーレイセットの最初の Ephone-dn の構成例

次の例は、オーバーレイされた同じ ephone-dn セットを各電話機のボタン 1 に使用する 3 台の電話機の構成を示しています。

```
telephony-service
 service dnis overlay

ephone-dn 1
 number 18005550100

ephone-dn 2
 name department1
 number 18005550101

ephone-dn 3
 name department2
 number 18005550102

ephone 1
 button 101,2,3
```

```
ephone 2
  button 1o1,2,3
```

```
ephone 3
  button 1o1,2,3
```

3台すべての電話機のデフォルト表示は、オーバーレイセットにリストされる最初の ephone-dn の番号です (18005550100)。最初の ephone-dn (18005550100) にコールがあると、発信者 ID (たとえば、4085550123) が3台すべての電話機に表示されます。電話機1のユーザがコールに応答します。発信者 ID (4085550123) は電話機1に表示されたままで、電話機2および電話機3の表示はデフォルト表示 (18005550100) に戻ります。次の ephone-dn へのコールがあります。電話機2および電話機3のデフォルト表示が、着信側 ephone-dn の名前 (18005550101) に置き換わります。

オーバーレイ Ephone-dn セット用ディレクトリ名の構成例

次に示すのは、ephone-dn のセカンダリ番号にワイルドカードを使用するオーバーレイされた ephone-dn セットの設定例です。ワイルドカードを使用すると、ダイヤルされた番号に従って表示を制御できます。この例は、1つのボタンで9名の医師へのコールを受け付ける3台の IP Phone を使用する医療応答サービスの場合です。ephone 1 から ephone 3 のボタン1で、5550001 への通話の呼び出しがあった場合、これら3台すべての ephone で「doctor1」が表示されます。

```
telephony-service
  service dnis dir-lookup

  directory entry 1 5550001 name doctor1
  directory entry 2 5550002 name doctor2
  directory entry 3 5550003 name doctor3
  directory entry 4 5550010 name doctor4
  directory entry 5 5550011 name doctor5
  directory entry 6 5550012 name doctor6

  directory entry 7 5550020 name doctor7
  directory entry 8 5550021 name doctor8
  directory entry 9 5550022 name doctor9

ephone-dn 1
  number 5500 secondary 555000.

ephone-dn 2
  number 5501 secondary 555001.

ephone-dn 3
  number 5502 secondary 555002.

ephone 1
  button 1o1,2,3
  mac-address 1111.1111.1111

ephone 2
  button 1o1,2,3
  mac-address 2222.2222.2222

ephone 3
  button 1o1,2,3
  mac-address 3333.3333.3333
```


ディレクトリエントリ作成の詳細については、「[ローカルディレクトリ \(1 ページ\)](#)」を参照してください。オーバーレイされた ephone-dn の詳細については、[通話対応機能](#)を参照してください。

オーバーレイ Ephone-dn を使用してハントグループのディレクトリ名を構成した例

次の例は、2 台の電話機と 4 名の医師による医療応答サービスのハントグループの設定を示しています。各電話機に 2 つのボタンがあり、各ボタンに 2 名の医師の番号が割り当てられています。患者が 5550341 に発信すると、Cisco Unified Cisco Mobility Express はハントグループのパイロットセカンダリ番号 (555....) と照合し、2 台の電話機の一方向のボタン 1 を鳴らし、「doctor1」を表示します。

```
telephony-service
service dnis dir-lookup
max-redirect 20
directory entry 1 5550341 name doctor1
directory entry 2 5550772 name doctor1
directory entry 3 5550263 name doctor3
directory entry 4 5550150 name doctor4

ephone-dn 1
number 1001

ephone-dn 2
number 1002

ephone-dn 3
number 1003

ephone-dn 4
number 104

ephone 1
button 1o1,2
button 2o3,4
mac-address 1111.1111.1111

ephone 2
button 1o1,2
button 2o3,4
mac-address 2222.2222.2222

ephone-hunt 1 peer
pilot 5100 secondary 555....
list 1001, 1002, 1003, 1004
final number 5556000
hops 5
preference 1
timeout 20
no-reg
```

ハントグループの動作の詳細については、[通話対応機能](#)を参照してください。ワイルドカードはセカンダリ番号でのみ使用され、プライマリ番号では使用できないことに注意してください。ディレクトリエントリ作成の詳細については、「[通話対応機能](#)」を参照してください。オーバーレイされた ephone-dn の詳細については、[通話対応機能](#)を参照してください。

非オーバーレイ Ephone-dn 用ディレクトリ名の構成例

次の例は、それぞれが 2 つのボタンを持つ 3 台の IP Phone の設定です。ボタン 1 は doctor1、doctor2、および doctor3 からのコールを受け付け、ボタン 2 は doctor4、doctor5、および doctor6 からのコールを受け付けます。

```
telephony-service
  service dnis dir-lookup
  directory entry 1 5550001 name doctor1
  directory entry 2 5550002 name doctor2
  directory entry 3 5550003 name doctor3
  directory entry 4 5550010 name doctor4
  directory entry 5 5550011 name doctor5 directory entry 6 5550012 name doctor6

ephone-dn 1
  number 1001 secondary 555000.

ephone-dn 2
  number 1002 secondary 555001.

ephone 1
  button 1:1
  button 2:2
  mac-address 1111.1111.1111

ephone 2
  button 1:1
  button 2:2
  mac-address 2222.2222.2222

ephone 3
  button 1:1
  button 2:2
  mac-address 3333.3333.3333
```

ディレクトリエントリ作成の詳細については、「[ローカルディレクトリ \(1 ページ\)](#)」を参照してください。

非オーバーレイ Ephone-dn 用 Ephone-dn 名の構成例

次の例は、3 つの異なるカタログに対する 3 つの 800 番をピックアップするように割り当てられたボタン 1 を持つ 3 台の電話機を示しています。

4 台すべての電話機のデフォルト表示は、オーバーレイセットにリストされる最初の ephone-dn の番号です (18005550000)。最初の ephone-dn (18005550000) にコールがあると、発信者 ID (たとえば、4085550123) がすべての電話機に表示されます。電話機 1 のユーザがコールに回答します。発信者 ID (4085550123) は電話機 1 に表示されたままで、電話機 2 および電話機 3 の表示はデフォルト表示 (18005550000) に戻ります。2 番目の ephone-dn (18005550001) へのコールがあります。電話機 2 および電話機 3 のデフォルト表示は着信側 ephone-dn の名前 (catalog1) と番号 (18005550001) に置き換わります。

```
telephony-service
  service dnis overlay

ephone-dn 1
  number 18005550000
```

```
ephone-dn 2
 name catalog1
 number 18005550001
```

```
ephone-dn 3
 name catalog2
 number 18005550002
```

```
ephone-dn 4
 name catalog3
 number 18005550003
```

```
ephone 1
 button 1o1,2,3,4
```

```
ephone 2
 button 1o1,2,3,4
```

```
ephone 3
 button 1o1,2,3,4
```

オーバーレイされた ephone-dn の詳細については、[通話対応機能](#)を参照してください。

ディレクトリ サービスの機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレインで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースだけを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェア リリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、www.cisco.com/go/cfn に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 1: ディレクトリ サービスの機能情報

機能名	Unified Cisco Mobility Express バージョン	機能情報
サービス ローカルディレクトリ	12.0	service local-directory authenticate username password としてユーザー名とパスワードを構成するようローカルディレクトリ サービスにアクセスする CLI コマンドを拡張しました。

機能名	Unified Cisco Mobility Express バージョン	機能情報
ディレクトリ検索	7.0/4.3	ディレクトリ検索の使用時に検索結果リストでサポートされるエントリの数が増え、32 から 240 に増えました。
着信側名ディスプレイ	12.0	音声ハントグループで構成した電話機の発信元名ディスプレイのサポート。
	3.2	発信元名のディスプレイが導入されました。

機能名	Unified Cisco Mobility Express バージョン	機能情報
ローカル ディレクトリ サービス外部ディレクトリ サービス	4.0(2)	ディレクトリにリストされている番号を選択し、コールを直接転送するためのサポートが追加されました。ディレクトリ転送がサポートされていない場合は、ユーザが[転送 (Transfer)] を押し、次にキーパッドを使用して監視する回線の番号を手動で入力し、着信コールを転送する必要があります。
	3.4	Cisco Unified CME に直接接続された SIP 電話機にディレクトリ サービスのサポートが追加されました。
	3.0	電話設定から自動的に追加されるもの以外に、ローカルディレクトリ エントリを追加する機能が導入されました。ローカルディレクトリ表示の認証が導入されました。
	2.1	電話機でのローカルディレクトリの表示をブロックする機能が導入されました。
	2.0	ローカルディレクトリでの名前形式の指定が導入されました。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。